

# 山岸巳代藏全集・正誤訂正表

(第六版 二〇一三年二月一四日現在)

## ◆「福里柔和子」の表記について

第一巻、第二巻までは(福里柔和)、三巻以降は(福里柔和子)になっています。また、書簡などでは(ニワ)などの表現もありますが、今のところ、そのままにしてあります。

## 〈第一巻〉

○七八ページ 七行目

(誤) 交友系累

(正) 交友係累

○一四七ページ 後ろから三行目に文章の抜け落ち

(誤) 第一には日没前に必ず長藁寝杵に誘導することです。

(正) 第一には日没前に必ず長藁二束を持って見張り、適当に寝杵に誘導することです。

○一九四ページ 一六行目

(誤) 不満をもたらしたり、

(正) 不満をもらしたり、

○三一五ページ 山岸養鶏古参者どのへ脚注

(誤) 一九五四年頃。「養鶏書・前編」刊行後の頃

(正) 一九五五年一〇月頃(推測)

○四八一ページ 上段四行目

(誤) 交友系累

(正) 交友係累

○四八二ページ 中段後ろから七行目

(誤) 京都府農業普及員和田義一

(正) 京都府農業改良普及員和田義一

○四八四ページ 上段後ろから七行目  
(現) 『世界革命実践の書』を執筆。

(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態―世界革命実践の書』を執筆。

○四八四ページ 中段後ろから八行目

(現) 『世界革命実践の書』を収録した。

(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態―世界革命実践の書』を収録した。

○四八五ページ 中段二行目

(誤) 八月一日、《山岸式養鶏会》を

(正) 八月二十五日、《山岸式養鶏会》を

○四八五ページ 中段一二行目

(誤) 一九五六年(昭和三二)一月一日、山岸会事務局を京都府向日町上植野公民館に設置。

(正) 一九五五年(昭和三〇)九月、山岸会事務局を京都府向日町上植野公民館に設置。

○四八五ページ 中段後ろから四行目

(現) 『ヤマギシズム社会の実態』発行。

(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態―世界革命実践の書』発行。

○四八七ページ 上段最終行

(誤) (一九五八年)七月一日、『山岸会養鶏法 増補改訂○農業養鶏編』増補二〇版発行。

(正) 一九五七年七月一日『山岸会養鶏法 増補改訂○農業養鶏編』増補二〇版の発行。

○四八七ページ 中段最後から二行目

(誤) 大田館

(正) 太田館

○四八九ページ 上段四行目

(誤) 一月、《金の要らない楽しい

(正) 五月、《金の要らない楽しい村

○四八九ページ 上段九行目

(誤) 『山岸会事件雑感』

(正) 『山岸会事件雑観』

○四九〇ページ 上段一行目

(誤) 五月、〈金のいらない楽しい村  
(正) 五月、〈金の要らない楽しい村

○四九〇ページ 上段一〇行目

(誤) 三月二日、名古屋八事園で、〈社会式養鶏法について〉の座談会。  
(正) 四月二日、名古屋八事園で、〈社会式養鶏法について〉の座談会。

○四九〇ページ 上段一三行目

(誤) 同月(三月)一六日、名古屋市半僧坊にて〈ヤマギシズム社会式養鶏法〉発表。  
(正) 四月一六日、名古屋市半僧坊にて〈ヤマギシズム社会式養鶏法〉発表会。↓この項目は中段に移動。

○四九一ページ 上段一行目

(誤) 同月二八日、津市「三眺荘」に中央試験場から四三名が集まり研鑽会。

(正) 同月二八、二九日、津市「三眺荘」に春日山などから多くの人(二九日は四三名)が集まり研鑽会。

○四九一ページ 上段五行目

(誤) 深夜〈社会式養鶏法説明会〉を行う。

(正) 深夜〈実顕地養鶏法発表会〉を行う。

○四九一ページ 上段三行目〜一行目を以下の文章に差し替え

五月一日 岡山県児島郡興除村・石井康彦宅での会員六十名が集まったの研鑽会に参加。深夜〈社会式養鶏法説明会〉を行う。

同三日 同興除村・有安市二別宅で二日。夜から開催されていた一体高度研鑽会に参加。参加者二十数名。午後五時半頃、研鑽会の途中「頭が痛い」と別室に退き、しばらく横になり、その後昏睡状態のまま四日午前零時五〇分、くも膜下出血で永眠。享年五九歳。

○四九三ページ 一行目 「山岸会式養鶏の急所と成功への道順」の発行日付

(誤) 1954.01 頃

(正) 1955.01 頃

○四九八ページ 西辻誠二の項

(誤) 22 歳のとき

(正) 24 歳のとき

⑩ 2005. 11. 11 版の訂正では、一日午後としていたが、二日夜に再訂正。

## 〈第二卷〉

〇一ページ 五行目

(誤) 〈ヤマギシズム社会の実態(一)〉

(正) 〈解説 ヤマギシズム社会の実態(一)〉

〇二ページ 一三行目

(誤) 当時の会員であった明・久・雄・名・義・で・書・か・れ

(正) 当時の会員であった明・田・久・雄・名・義・で・書・か・れ

〇二一ページ 脚注

(誤) 池田隼人

(正) 池田勇人

〇三三ページ 後ろから三行目から三四ページ 一行目まで

(現) また道を尋ねられても、自分は自分、ひとはひとと、他に関せずの個人主義も、実は社会が自分一人限りのものでなく、

(正) また道を尋ねられても、自分は自分、ひとはひとと、他に関せずの個人主義も、社会に生きる吾々人間の真実の姿ではないようです。  
実は社会が自分一人限りのものでなく、

本全集で底本とした『山岸会・山岸式養鶏会会報・第三号』(一九五四年二月三〇日発行)及び『ヤマギシズム社会の実態・第一版』(一九五六年四月一〇日発行)では、(現)のようになっていたが、『ヤマギシズム社会の実態・第二版』(一九五七年三月一〇日発行)から第五版(一九六九年〇月一日発行)までは、(正)のような表現(傍点部)が付加され、その後改行されている。第六版(一九七四年八月一日発行)の改訂に於て、第一版の表現に戻り、以後そのままになっている。

第二版の改訂は、山岸巳代蔵存命中のことであり、推測に過ぎないが、初版に於て抜け落ちていた一節を復活させた可能性もある。

〇九六ページ 五行目

(誤) 何だか惜しい愁が残るのは、私ばかりではないでしょう。

(正) 何だか惜しい愁が残るのは、私ばかりではないでしょう。

〇一六七ページ 脚注

(誤) 『山岸会事件雑感』より

(正) 『山岸会事件雑観』より

○一八七ページ 一〇行目

(誤) 徳島県那賀群羽ノ浦町高田

(正) 徳島県那賀郡羽ノ浦町高田

○二一六ページ 三行目

(現) 京都府乙訓郡長岡町栗生の光明寺

(訂正) 京都府乙訓郡長岡町(現長岡京市) 栗生の光明寺

○三三四ページ 上段後ろから二行目

(誤) 山鳥為一

(正) 山鳥健一

○三四七ページ 上段一行目

(誤) 大森敏彦

(正) 大森敏恵

○三四八ページ 上段三行目

(誤) 農工産業新聞三二二号

(正) 農工産業新聞二二二二号

○三五九ページ 上段後ろから三行目

(誤) 欲し時

(正) 欲しい時

○三六四ページ 上段 三行目

(誤) 何かの事情

(正) 何かの事情

○三七六ページ 上段二行目

(誤) 多勢集まり

(正) 大勢集まり

○三八四ページ 九行目

(誤) シェーカー

(正) シェーカー

○三九二ページ 四行目

(誤) つまり、白・分の顔を自分のものだと……

(正) つまり、自・分の顔を自分のものだと……

○四〇四ページ 「山田村の実況」の発行日付

(誤) 1960. ~~中~~十頃

(正) 1960. 05頃

○四〇四ページ 「山岸会事件雑観」のタイトル

(誤) 山岸会事件雑感

(正) 山岸会事件雑観

○四〇四ページ 「盲信について・口述」の項

(誤) 実顕地代表者会議研鑽資料

(正) 研鑽資料として実顕地や研鑽学校で使われた。

○四一ページ 田島薫の項

(誤) 大阪府泉南郡海町山中新田

(正) 大阪府泉南郡南海町山中新田

○四一三ページ 明田恵二の項

(誤) 山岸会事件雑感

(正) 山岸会事件雑観

○四一六ページ 右段一九行目

(誤) き・や・す・い・間・違・い・の・な・い・方・法

(正) 行・き・や・す・い・間・違・い・の・な・い・方・法

## 〈第二巻〉

○三二ページ 脚注

(誤) り・し・よ・う・ば・ん (一八六五—一九六五) 韓国の政治家。

(正) り・し・よ・う・ば・ん (一八七五—一九六五) 韓国の政治家。

〇二二八ページ 一〇行目

- (誤) 自己及び自国、我が党の利益や対面を保つ  
(正) 自己及び自国、我が党の利益や体面を保つ

〇二九八ページ 三行目から五行目

- (誤) なお、その際警察に「自意出頭書」を提出したという証言があるがそれは現存していない。  
(正) なお、その際警察に「自意出頭書」を提出した。(全集編集の過程で発見され、『資料編目』九八ページに収録されている)

〇三〇六ページ 三行目

- (誤) 中村美須枝が筆記した。  
(正) 中村美須枝と大江博が筆記した。

〇三一六ページ 一行目から四行目

- (誤) 《金の要らない楽しい村 ヤマギシズム生活実蹟地 山田村の実況》は、一九六〇年の六月頃に三重県津市の「主眺望」において山岸が口述し、奥村通哉が筆記した。

- (正) 《金の要らない楽しい村 ヤマギシズム生活実蹟地 山田村の実況》は、一九六〇年の五月頃に三重県津市において山岸が口述し、大江博が筆記した。

〇四二四ページ 後ろから三行目

- (誤) 一月一九日、山岸はニワから熱湯をかけられ  
(正) 一月一七日、山岸はニワから熱湯をかけられ

〇四三〇ページ 後ろから二行目

- (誤) 《二月一九日》 山岸はニワから熱湯をかけられ、  
(正) 《二月一七日》 山岸はニワから熱湯をかけられ、

〇四四七ページ 二行目

- (誤) 大森敏枝  
(正) 大森敏恵

〇四五一ページ 四行目

- (誤) 毎日新聞八日付  
(正) 毎日新聞七日付

○四五二ページ 五行目  
(誤) 飼うのが簡単で  
(正) 飼うのがかんたんで

○四五三ページ 五行目  
(誤) しかもこの鶏フンで成育された稲が  
(正) しかもこの鶏フンで成育させた稲が

○四五四ページ 五行目  
(誤) 山岸会養鶏法  
(正) 山岸会式養鶏法

○四五五ページ 一三行目  
(誤) どうもまだ実体は  
(正) どうも実体は

○四八二ページ 「金の要らない楽しい村 ヤマギシズム生活実顕地 山田村の実況」の  
発行日付

(誤) 1960.06頃  
(正) 1960.05頃

## 〈第四巻〉

○一〇七ページ 七行目から八行目  
「消化器構造を強化するためには、そうせずに乾燥のまま与えることもある」という表現  
に対し、  
「消化器構造を強化するためには、そうせずに乾燥のまま与えることである」ではないか  
との指摘をいただきました。この部分に関しては原本が現存しないため、どちらが正確か  
の判断は難しいため、両者を併記することとしました。

○一九四ページ 二行目から三行目

(誤) ◎ヤマギシズム実顕地の造成を

無辺の絶対愛和けんさんで、実顕地の造成に全力を傾注しよう。

(正) ◎ヤマギシズム実顕地の造成を

優柔不断が本場で(小さな字体で)

無辺の絶対愛和けんさんで、実顕地の造成に全力を傾注しよう。



○二八五ページ 後ろから三行目  
(誤) 動きませせん  
(正) 動きませせん

○三九九ページ 下段一行目  
(誤) 研鎖学校  
(正) 研鑽学校

○四一六ページ 表  
(誤) 疏菜  
(正) 蔬菜

## 〈第五卷〉

○五ページ 一行目  
(誤) 内閣総理大臣 池田隼人殿―特講への招待状  
(正) 内閣総理大臣 池田勇人殿―特講への招待状

○八ページ 下段最終行  
(誤) 内閣総理大臣 池田隼人殿―特講への招待状  
(正) 内閣総理大臣 池田勇人殿―特講への招待状

○一九九ページ 脚注  
(誤) 真須美修養会  
(正) 真寿美修養会

○二六四ページ 四行目  
(誤) 真須美修養会  
(正) 真寿美修養会

○三八〇ページ 「資料の説明」の一行目  
(誤) この資料は、一九五九年七月の第一回理念研の開催にあたり、  
(正) この資料は、一九六〇年七月の第一回理念研の開催にあたり、

〇三八二ページ 下段五行目

(誤) 山本作様、中井様にもよろしく。

(正) 山本作治郎様、中井様にもよろしく。

〇三八九ページ 一行目

(誤) 内閣総理大臣 池田隼人殿―特講への招待状

(正) 内閣総理大臣 池田勇人殿―特講への招待状

## 〈第六卷〉

〇一五六ページ 一行目

(誤) 敏彦さんが

(正) 敏恵さんが

〇一五六ページ 脚注

(誤) 大森敏彦

(正) 大森敏恵

## 〈資料編Ⅱ〉

〇六ページ 一行目から二行目

(現) 捜査当局の見解等から

(正) 捜査当局の見解、川口兵衛の証言等から

〇七ページ 二行目から三行目

(現) 八月の上旬頃には山岸は名古屋を去っていた。

そして次に向かったのは滋賀県志賀町北比良の会員宅であった。

(正) 八月五日には山岸は名古屋を去り、四日市の頼子の所に二泊過ごし、七日川口兵衛と共に、滋賀県志賀町北比良の会員宅に向かった(松井その宅に四〇五日滞在後、高山悦宅へ移った)。

〇二六四ページ 三段目脚注

(誤) 山岸直筆の原稿は残っていない。筆写原稿が残っているもので、それを底本にした。

(正) 山岸直筆の原稿が残っている。

## 〈資料編目〉

〇三二ページ 二段目 脚注  
(誤) 『正解ヤマギシズム全輯』の草稿の一部。本来なら、本全集第七巻に収録するものだが、ミスで漏れてしまったので、ここに収録する。  
(正) 第七巻四六ページ「正解ヤマギシズム全輯を通じての前ことば ヤマギシズムについて」にほぼ同じ文章があったので、その時の編集方針として載せなかったが、直筆の原稿なので、ここに収録する。

〇一七二ページ 三段目 脚注  
(誤) 『雑録ノート』。  
(正) 『雑録ノート』。

〇二〇三ページ 上段三行目  
(誤) 九月二日  
(正) 九月三日

〇二〇三ページ 上段四行目  
(誤) 農業普及員  
(正) 農業改良普及員

〇二〇三ページ 下段後ろから五行目  
(誤) 山岸式養鶏普及会  
(正) 山岸式養鶏法普及会

〇二〇三ページ 下段後ろから二行目  
(誤) 七月 「山岸式養鶏普及会」を「山岸養鶏会」と改称。  
(正) 一〇月 「山岸式養鶏法普及会」を「山岸式養鶏会」と改称。

二〇六ページ 上段後ろから六行目  
(現) 『世界革命実践の書』の発表  
(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態』の発表

〇二〇六ページ 上段後ろから三行目  
(現) 『世界革命実践の書』の主要部分を  
(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態―世界革命実践の書』の主要部分を

○二〇六ページ 下段六行目  
(現) 『世界革命実践の書』が収録された  
(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態―世界革命実践の書』が収録された

○二〇七ページ 上段四行目  
(誤) 家は廃屋になり  
(正) (削除する)

○二〇七ページ 下段後ろから三行目  
(誤) 大森敏彦  
(正) 大森敏恵

○二一〇ページ 上段後ろから三行目  
(誤) 四月一七日 「第一回愛情徹底研鑽会」  
(正) 四月一七日 「第一回愛情研鑽会」

○二一一ページ 下段三行目  
(誤) 一月一九日 柔和子が山岸の顔に熱湯をかけ、  
(正) 一月一七日 柔和子が山岸の顔に熱湯をかけ、

○二一二ページ 下段五行目  
(誤) 会事務局長の東加九一  
(正) 元会事務局員の東加九一

○二二五ページ 下段後ろから七行目  
(誤) 五月二日、有安市二宅で「社会式養鶏説明会」  
(正) 五月一日深夜、「実蹟地養鶏法発表会」

○二二五ページ 下段後ろから六行目  
(誤) 五月三日、ひき続き「一体高度研鑽会」を午前九時から始め午後四時頃、山岸研鑽会に参加する。  
(正) 五月三日 興除村・有安市二別宅で二日夜から開催されていた「一体高度研鑽会」に午後四時頃から、山岸参加する。

## 〈山岸巳代蔵年譜〉

〇一六ページ 後ろから三行目

(誤) 九月二日

(正) 九月三日

〇一六ページ 後ろから二行目

(誤) 農業普及員

(正) 農業改良普及員

〇一八ページ 六行目

(誤) 山岸式養鶏普及会

(正) 山岸式養鶏法普及会

〇一八ページ 九行目

(誤) 七月 「山岸式養鶏普及会」を「山岸養鶏会」と改称。

(正) 一〇月 「山岸式養鶏法普及会」を「山岸式養鶏会」と改称。

〇二二ページ 七行目

(現) 『世界革命実践の書』の発表

(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態』の発表

〇二二ページ 一〇行目

(現) 『世界革命実践の書』の主要部分を

(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態―世界革命実践の書』の主要部分を

〇二二ページ 後ろから四行目

(現) 『世界革命実践の書』が収録された

(訂正) 『ヤマギシズム社会の実態―世界革命実践の書』が収録された

〇二三ページ 九行目

(誤) 家は廃屋になり

(正) (削除する)

〇二四ページ 後ろから三行目

(誤) 大森敏彦

(正) 大森敏恵

○二八ページ 後ろから四行目

(誤) 四月一七日 「第一回愛情徹底研鑽会」

(正) 四月一七日 「第一回愛情研鑽会」

○三〇ページ 後ろから七行目

(誤) 一月一九日 柔和子が山岸の顔に熱湯をかけ、

(正) 一月一七日 柔和子が山岸の顔に熱湯をかけ、

○三二ページ 五行目

(誤) 会・事・務・局・の・東・加・九・一

(正) 元・会・事・務・局・員・の・東・加・九・一

○三七ページ 八行目

(誤) 五・月・二・日・、・有・安・市・二・宅・で・「・社・会・式・養・鶏・説・明・会」

(正) 五・月・一・日・深・夜・ 「・実・顕・地・養・鶏・法・発・表・会」

○三七ページ 九行目

(誤) 五月三日、ひき続き「一体高度研鑽会」を午前九時から始め午後四時頃、山岸研鑽会に参加する。

(正) 五月三日 興除村・有安市二別宅で二日夜から開催されていた「一体高度研鑽会」に午後四時頃から、山岸参加する。